

第5次我孫子市地域福祉活動計画

(平成29年度～令和3年度)

中間評価報告書

安心とゆとりのまち 住み続けたいまちづくり

目 次

§ 我孫子市社会福祉協議会 進捗評価表	…P 1
§ 地区社会福祉協議会 全体の進捗評価表	…P 1
§ 中間評価のまとめ	…P 2
§ 我孫子市社会福祉協議会 進捗評価表（目標別）	…P 3
§ 我孫子北地区社会福祉協議会 進捗評価表	…P10
§ 我孫子南地区社会福祉協議会 進捗評価表	…P14
§ 天王台地区社会福祉協議会 進捗評価表	…P18
§ 湖北地区社会福祉協議会 進捗評価表	…P22
§ 湖北台地区社会福祉協議会 進捗評価表	…P27
§ 布佐地区社会福祉協議会 進捗評価表	…P31

令和2年3月6日

社会福祉法人 我孫子市社会福祉協議会

会長 湯下廣一

安心とゆとりのまち 住み続けたいまちづくり

我孫子市社会福祉協議会 進捗評価表

基本目標	A:十分できた	B:概ねできた	C:あまりできなかった	D:取り組めなかった
目標1. 広げよう、つながりの輪	20%	80%	0%	0%
目標2. 学び、理解し、共にあゆむ	34%	60%	7%	0%
目標3. 支援が必要な人たちを支える	22%	72%	3%	3%
目標4. 一人ひとりが参加できる仕組みづくり	16%	78%	6%	0%
目標5. 安心と安全を守る取り組み	17%	83%	0%	0%
全 体	21%	75%	4%	1%

■ ■ ■ 今後の重要（拡充）事業 ■ ■ ■

- ⑥生活支援体制整備事業（市委託事業）
- (17)あびこ後見支援センター

安心とゆとりのまち 住み続けたいまちづくり

地区社会福祉協議会 全体の進捗評価表

地区社協	A:十分できた	B:概ねできた	C:あまりできなかった	D:取り組めなかつた
我孫子北地区社会福祉協議会	54%	13%	7%	26%
我孫子南地区社会福祉協議会	73%	11%	11%	5%
天王台地区社会福祉協議会	70%	10%	14%	6%
湖北地区社会福祉協議会	32%	59%	2%	7%
湖北台地区社会福祉協議会	67%	19%	9%	5%
布佐地区社会福祉協議会	40%	40%	15%	5%
6地区社協全体	54%	26%	9%	11%

■ ■ ■ 今後の重要（拡充）事業 ■ ■ ■ ※複数地区で共通した事業

- 高齢者地域支え合い活動 ※3地区共通
- 地域福祉ネットワーク（地域懇談会等）※3地区共通
- 高齢者サロン（交流の場づくり）※3地区共通
- 認知症サポートー養成講座（小中学校での福祉教育、スキルアップ）※3地区共通

中間評価のまとめ

1. 全体の進捗状況

社協全体の進捗評価は、A（十分できた）+B（概ねできた）が87%で、また、地区社協全体でも80%であり、当初の計画のとおり『地域福祉を推進』が着実に実行できていると言える。

それぞれ地区で、C（あまり取り組めなかった）やD（取り組めなかった）があるが、すでに事業実施の二一
ズが無くなった事業（例：他の団体が実施し始めた。他の事業でその目的が担われている等）、連携相手が実施しなくなり取り組めなかった事業、担い手不足により取り組めなかった事業などがあった。また、今後の2カ年で取り組くむ事業、事業実施が難しい事業と分かれた。

参考1) 全体の進捗割合

市社協・地区社協 全 体	A：十分 でき た	B：概ね でき た	C：あ ま りでき なか っ た	D：取 り組 めな か っ た
	43%	44%	7%	7%

参考2) 活動方針（地区社協）と支援方針（市社協）の評価

団体名	方針の事業数(延べ数)				
	A	B	C	D	合計
我孫子北地区	25	6	3	12	46
我孫子南地区	14	2	2	1	19
天王台地区	19	3	4	2	28
湖北地区	13	24	1	3	41
湖北台地区	28	8	5	1	42
布佐地区	8	8	3	1	20
地区社協全体	107	51	18	20	196
市社協	23	82	4	1	110
合 計	130	133	22	21	306

2. 今後の取組み

地区社協の評価見直し作業の中で、「委員の担い手不足（委員の高齢化）」などが課題として挙げられた。また、重要（拡充）となる事業を目標ごとに見ると、目標1「広げよう、つながりの輪」11件と多かった。

今後の地区社協の取組みは、目標1「広げよう、つながりの輪」が最も重要な目標と言える。また、担い手不足の解消という視点からも、目標1の活動方針2「福祉ネットワークを推進します」を推進し、他機関との協力関係の強化を図り、事業を遂行しやすくすること。また、目標4「一人ひとりが参加できる仕組みづくり」の活動方針1「ボランティア・市民活動ができる場を提供します」を推進し、地区社協活動にボランティア参加できる機会を増やし、地域資源（人材）の発掘などの取組みが重要と思われます。

市社協でも地区社協活動と関連機関とのコーディネート（福祉ネットワーク）や、ボランティア参加など地区社協活動に協力いただける担い手の募集・調整など支援する必要がある。

また、市社協の評価・見直しの中でも“分野を超えたネットワーク、つなげる事業を重視すべき”との意見があり、官民連携や多職種連携が進む中で、今後の重要事業と合わせ、特に目標1「広げよう、つながりの輪」の支援方針2「福祉ネットワークを支援します」に注目し、“つながり”を重視した事業を推進する必要がある。

参考3 今後の重要事業数（延べ数）

目 標	1	2	3	4	5	合計
我孫子北地区	2	1	1	0	0	4
我孫子南地区	2	1	1	0	1	5
天王台地区	0	2	1	0	0	3
湖北地区	1	3	1	1	1	7
湖北台地区	1	0	1	0	0	2
布佐地区	3	1	1	2	0	7
市社協	2	0	2	2	0	6
合 計	11	8	8	5	2	34

第5次孫子市地域福祉活動計画評議會進表

目標1：広げよう、つながりの輪

Ⅰ. ふれあい・支援方針		地域への影響（成果や課題）		今後の評価
支援方針	市社協の主な支援事業	進捗状況	評価	
支援方針1 支交の場に関する情報提供、仲介、支援をします	①【新規】自治会活動支援事業 ②保育園品の貸出事業 ③西部福祉センター事業（市指定管理者制度） ④【新規】高齢者施設に関する支援事業 ⑤【新規】障がい者福祉施設に関する支援事業 ⑥生活支援体制整備事業（市委託事業）	B B B B — —	日赤・社会合同説明会の実施。自治会活動アート調査、情報提供が好評。 健診機器の貸出増、地域行事での機器の活用が増えた。 高齢者緊急救護セミナーを購入。 H30年度改修により1ヶ月休館し利用者減。行事を増やし好評。	継続
支援方針2 福祉ネットワークを支援します	⑦市民との協働事業 ⑧生活支援体制整備事業（市指定管理者制度）	B B B A B B B A B B B A B	企業含めた交流会を開催。地区社会による見守りや交流活動がスタート。 企業含めた交流会を開催。地区社会による見守りや交流活動がスタート。 地区社会団体の交流が図れた。 地区社会団体の交流が図れた。 障がいの方に好評。学生ボランティアの障がい理解が深められた。 多様な参画団体の交流が図れた。 5回体で実施、中央医学大学演劇部が本部になり、担い手不足が課題。 行政、ボランティア団体、社協で実施。バリアフリー整備、ボランティア活動促進。 参画団体での情報交換、交説が図れた。 高齢化により団体の利用が減少。利用者が増えれるよう行事を増やし、好評だった。	拡充 継続 継続 継続 継続 継続 継続 継続 継続 継続 継続 継続 継続 —
支援方針3 様々なサロン活動の支援をします	⑨西部福祉センター事業（市指定管理者制度） ⑩【新規】ふれあい・いきいきサロン支援事業	— —	日赤・社会合同説明会の実施。自治会活動アート調査、情報提供が好評。	継続
支援方針4 福祉に関する調査・情報提供をします	⑪【新規】自治会活動支援事業 ⑫生活支援体制整備事業（市委託事業） ⑬福祉ショッピング＆整体院茶ほぼら ⑭あびこ社会だより「福祉の窓へ」 ⑮ホームベースによる情報提供事業	B B B B A	相談機関用に「高齢者困った時」1000部を作成し、好評だった。 障がい者の実習生の受け入れを実施。結果、「福祉ショッピング」のアピールにつながった。 自治会役員や読みみ手の利便性に配慮。たよりを買って、行事に参加したとの声を聞いた。 平成31年4月のHPリニューアルが好評。問い合わせを増やした。	拡充 継続 継続 継続 継続

卷之三

開催する管社事業		地域への影響（成果や課題）	
		進捗評価	今後の評価
(1) コミュニティ・カフエ事業	認知症カフエ 縁力和茶屋（市委託事業）	B 家族、地域高齢者も参加し、つながり、理解が深まった。	継続
(2) コミュニティ・カフエ事業	高次脳機能障がい者カフエ letto（リエット）	B 柏、松戸の方など参加者の広がりがある。	継続
(3) [新規] コミュニティ・カフエ事業	ひきこもり支援カフエ	一 年10件前後、寄せな結婚相談所が成立している。イベント参加者減少。参加者が同じ顔触れ、課題。	継続
(4) 我孫子市結婚相談所		A A:十分できた B:概ねできた C:あまりできなかった D:未実施	今後の（取組み）評価 「拡充」…事業の拡大、拡充が必要 「継続」…現在の形で継続する。 「縮小」…対象や内容を縮小する。 「廃止」…廃止・休止すべきもの。 延べ事業合計数 20件

の主事がその職務を司る。

今後、重要な既存の事業・新しく必要となる事業（法人運営・支援事業・福祉事業）				事業概要（内容や時期など）について
必要な理由と地域への影響（成果）				令和元年度に、第2層活動がスタートした。「高齢者世帯をささえあい活動」として、地区社協が実施。今後事業を活用して地区社会活動が活発化・拡充が見込まれる。
事業名・課題名	⑤生活支援体制整備事業（市委託事業）			地域での支え合い、住民活動の拡充が見込まれる。
2017年度(H29)	2018年度(H30)	2021年度(R3)	成果や課題	
目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	H30年1ヶ目標達成できなかつた。	
③西部福祉センター事業（利用者数） (4) 我孫子市施設相談所（会員数）	31,600 210	34,912 361	31,700 220	H30年1ヶ目標達成できなかつた。 目標过大幅に達成できだが、H30年は減少。

第5次我孫子市地域福祉活動計画 進捗評価表

2019年度中間見直し

目標2. 学び、理解し、共にあゆむ

支援方針	市社協の主な支援事業	支援評価	地域への影響（成果や課題）	
			今後の評価	今後の評価
支援方針1.に關する情報提供や支援をします	②保有備品の貸出事業	B	健診機器の貸出増、地域行事での機器の活用が増。 市民向けの学習会を実施。 市民向けの学習会が出来なくなかった。	継続
	②【新規】学習会・研修会に関する事業	C	地区社協事業に觸れた人への好評を得ている。	継続
	③福祉教育・ボランティア啓発事業	A	中高生のボランティア活動につながった。 満足な体験との好評を得ている。	継続
	④介護予防教室等への支援	A	年80～90回職員を派遣。 講師料無料であり気軽に申し込みめる。	継続
	⑤介護予防教室等への支援	A	高齢者疑似体験セミナーを購入。 小学校での体験授業が増えている。	継続
	⑥介護予防教室等への支援	B	市民に障がい者、障がい言の団体を知つてもらうきっかけとなっている。	継続
	⑦市民との協働事業	B	寄付、購入、利用と社会貢献の気持ちを疊積する効果がある。	継続
	⑧市民との協働事業	B	障がいの方に好評。 理解も深められる。	継続
	⑨市民との協働事業	A	ボランティア担当を担い、まちのボランティア活動を推進した。	継続
	⑩市民との協働事業	B	ハンディのある子、ない子が共に楽しめる場となっている。	継続
支援方針2. 福祉教育を推進します	⑪ヨガ・ヨガ祭り大会	B	ハンディア団体（会員50名）に対してパリアフリー学習会を実施している。	継続
	⑫らっく楽あひご	B	ボランティア団体（会員50名）に対しても周知できた。	継続
	⑬高齢社会への対応を探る会	A	行事来場者も200人を越え、高齢者の課題・啓発など広く周知している。	継続
	⑭高齢社会への対応を探る会	A	中高生にボランティア活動につながった。 満足な体験との好評を得ている。	継続
	⑮福祉教育・ボランティア啓発事業	A	小学校での高齢者疑似体験（授業）が増。（なんでも相談室と地区社会とも実施）	継続

関連する福祉事業	支援評価	地域への影響（成果や課題）	今後の評価	
			今後の評価	今後の評価
(1) コミュニティ・カフェ事業 認知症カフェ 緑力和茶屋（市委託事業）	B	家族、地域高齢者も参加し、つながり、理解が深まった。	継続	継続
(2) コミュニティ・カフェ事業 高次機能障がい者カフェ let's	B	柏、松戸の方など参加者の広がりがある。	継続	継続
(3) 【新規】コミュニティ・カフェ事業 仮称) ひきこもり支援カフェ	—	—	—	—
進歩評価 A:十分でてきた B:概ねできた C:あまりできなかつた D:未実施	5件 9件 1件 0件	今後の（取組み）評価 「拡充」…事業の拡大、拡充が必要 「継続」…現在の形で継続する。 「縮小」…対象や内容を縮小する。 「廃止」…廃止・休止すべきもの。 延べ事業合計数	0件 15件 0件 0件 15件	0件 15件 0件 0件 15件

※支援事業のうち、実績値や目標値があるもの

事業名・課題名	成果や課題			
	事業概要（内容や時期など）について			
①福祉教育・ボランティア啓発事業（出前講座派遣回数）	必要性の理由と地域への影響（成果）			
特になし。				

第5次我孫子市地域福祉活動計画 進捗評価表

2019年度中間見直し

目標3. 支援が必要な人たちを支える

支援方針 見守り活動を支援します	市社協の主な支援事業	進捗 評価	地域への影響 成果や課題		今後の 評価
			自治会（役員）が協力。市民から寄付物品を受付、販売。物品が減少している。	—	
支援方針2 寄付・募金運動を普及していきます	⑭【新規】見守り組織支援事業 1) 福祉まつり 2) 福祉バザー 3) ホアワッカふれあいキャラクター 4) カッバまつり 5) ドヨウヨリバス会 6) らつく樂あびこ 7) 高齢社会への対応を探る会	B	自治会（役員）が協力。市民から寄付物品を受付、販売。物品が減少している。	—	継続
	⑮【新規】制服リサイクルバンク事業	—	—	—	—
	⑯寄付金受け事業 ⑰心の宝石募金施設整備事業 ⑲借社募金自動販売機設置事業 ⑳赤い羽根共同募金 ㉑歳末たすけあい募金 ㉒【新規】短時間サービス事業（仮称：ミニお助け隊） ㉓【新規】生活支援体制整備事業（市委託事業） ㉔【新規】子育てシェア支援事業 ㉕【新規】短時間サービス事業（仮称：ミニお助け隊） ㉖住民参加型ホームヘルプサービス事業 あいあじこ ㉗移動サービス事業 ㉘傾聴ボランティア派遣事業	B	自動的に寄付が出来るシステムを取り入れる。広報紙、イベントでPRを継続する。	—	継続
	㉙車両の老朽化、リースへ切替、利便性を図った。運転ボランティアの高齢化。 ㉚利用者から感謝の声を聞いた。傾聴塾も好評だった。派遣調整力難しい。	B	1万所当たりの募金額が減少。募金箱の老朽化。 行政機関への新規設置が出来なくなつた。「気軽に社会貢献」をPRしていきたい。	—	継続
	㉛H30年度募金増加。子ども食堂、学習支援ネットに支援てきた。 ㉜…※当初、事業開始にあたり、寄付金を募る検討があった。平成30年度に検証終了。	A	日赤と合同で説明会開催（役員の負担軽減）。学校募金の強化（児童会等の活性化）。	—	継続
	㉝相談機関用に「高齢者困った時力」1000部を作成し、好評だった。	B	H30年度募金増加。子ども食堂、学習支援ネットに支援てきた。	—	継続
	㉞	—	…※当初、事業開始にあたり、寄付金を募る検討があった。平成30年度に検証終了。	—	廃止
	㉟	—	相談機関用に「高齢者困った時力」1000部を作成し、好評だった。	—	拡充
	㉟	—	—	—	—
	㉟	—	—	—	—
支援方針3 住民による生活支援を推進します	㉟	B	10ヶ月実施・検証した。サービス提供者はいる。その情報を提供する必要がある。	—	廃止
	㉟	C	制度外サービスとして、需要があるが、刈込できないケースもある。	—	継続
	㉟	B	車両の老朽化、リースへ切替、利便性を図った。運転ボランティアの高齢化。	—	継続
	㉟	B	利用者から感謝の声を聞いた。傾聴塾も好評だった。派遣調整力難しい。	—	継続
	㉟	—	—	—	—
	㉟	—	—	—	—
	㉟	—	—	—	—
	㉟	—	各施設の手作り商品について展示販売を行い、大口の注文の予約や旁注、受け渡し窓口	—	継続
	㉟	B	的な分割割を果たしている。	—	—
	㉟	—	—	—	—
支援方針4 福祉施設や福祉団体に関する情報 提供や紹介、支援を行います	㉟【新規】見守り組織支援事業 ㉟【新規】子ども成長支援事業 ㉟【新規】我孫子市福祉人材バンク事業 ㉟地域福祉活動団体助成金交付事業 ㉟介護保険ボランティアポイント制度（市委託事業）	A	2つのネットワークが発足し、事務局（受付窓口）として支援し評価されている。	—	継続
	㉟	B	平成30年度に配分の見直し実施。主に要支援者の生活に関わる団体を追加した。	—	継続
	㉟	B	新規登録者の半数から、つながり、張り合いなどの評価をいたいている。	—	継続
	㉟	—	—	—	—
	㉟	B	高齢化による評選者増。	—	—

第5次我孫子市地域福祉活動計画 進捗評価表

2019年度中間見直し

目標3. 支援が必要な人たちを支える

関連する福祉事業	評価	地域への影響（成果や課題）			今後の評価
		実績値	目標値	実績値	
(1) コミュニティ・カフェ事業 認知症カフェ 緑が和茶屋（市委託事業）	B	家族、地域高齢者も参加し、つながり、理解が深まった。		35	1件所当たりの費用額が減少。募金箱の老朽化。
(2) コミュニティ・カフェ事業 高次脳機能障がい者カフェ Ieto（リエット）	B	市内火力所に増え、当会が開催する目的が薄れています。		40	行政機関への新規設置が出来なくなつた。「気軽に社会貢献」をPRしていきたい。
(3) 【新規】コミュニティ・カフェ事業 仮称)ひきこもり支援カフェ	—	—		790	日赤と合同で説明会開催（役員の負担軽減）。学校募金の強化（児童会等の活動化）。
(5) 訪問介護及び訪問介護事業	B	困難ケースに対応できると評価されている。新規ヘルパーの採用が難しい。		790	H30年度募金増加。子ども食堂、学習支援ネットに支援できた。
(6) 屋宅介護支援事業	A	現在53件。新規ケアマネの採用が難しく、新規受付が出来ない。事業の継続に課題。		500	協会員の高齢化。また、協力会員の連携が難しい。
(7) 介護予防支援事業（市委託事業）	A	現在8件。新規ケアマネの採用が難しく、新規受付が出来ない。事業の継続に課題。		479	制度発足から7年、高齢化による辞退者や活動しない方も増えている。
(8) 介護認定調査事業 ※平成29年度廃止	B	対応できる事業所が増え、H29年度に廃止を計画した事業。		37	法人後見制度の周知、利用拡大、法人後見の件数増も見込まれる。
(9) 大人用紙おむつ配布事業 ※平成29年度廃止	B	介護延べ54名。同行延べ170名。障がい者の生活に寄与できました。		52	成年後見制度の周知、利用拡大、法人後見の件数増も見込まれる。
(10) 障がい者児童福祉サービス事業	B	介護延べ54名。担当者が名前を記入して譲り受けている様子。		583	成年後見制度の周知、利用拡大、法人後見の件数増も見込まれる。
(11) 障がい者在宅生活支援事業	B	代謝67件減少。従事者の確保、また、担当が1名のみの派遣調整に課題が残る。		680	成年後見制度の周知、利用拡大、法人後見の件数増も見込まれる。
(12) ママヘルプサービス（市委託事業）	D	市と契約している事が3年以上依頼はない。民間の事業所で対応できている様子。		1件	成年後見制度の周知、利用拡大、法人後見の件数増も見込まれる。
(13) 善恵銀行 小口貸付事業	B	貸付件数の減少、償還率は上昇。多様化する生活問題に相談支援の充実が課題。		1件	成年後見制度の周知、利用拡大、法人後見の件数増も見込まれる。
(14) 生活福祉資金貸付事業	A	相談60件、貸付10件前後。教育資金が多い。他機関と連携し対応してきた。		1件	成年後見制度の周知、利用拡大、法人後見の件数増も見込まれる。
(15) 帰宅旅費貸付事業	B	年10件前後。ホームレス防止、救済につながっています。		1件	成年後見制度の周知、利用拡大、法人後見の件数増も見込まれる。
(16) 災害見舞金配布事業	B	行政と連携し対応してきた。消防水による水害に対する見舞金を交付するか今後検討したい。		1件	成年後見制度の周知、利用拡大、法人後見の件数増も見込まれる。
(17) あびこ後見支援センター	A	順調に增加傾向。弁護士相談もあり大幅に増えている。財源や人員確保が課題。		1件	成年後見制度の周知、利用拡大、法人後見の件数増も見込まれる。
(18) 我孫子市民生委員兒童協議会の事務局運営（市委託事業）	A	世帯調査や地域ケア会議が特に評価されている。民生委員の怠い手不足が課題。		1件	成年後見制度の周知、利用拡大、法人後見の件数増も見込まれる。
(19) 我孫子市道徳会の事務局運営（市委託事業）	B	高齢化による会員の減少。その分、事務局の役割も大きい。		1件	成年後見制度の周知、利用拡大、法人後見の件数増も見込まれる。

2017年度(H29)	2018年度(H30)	2021年度(R3)	成績や課題		
			目標値	実績値	目標値
①私の宝石募金箱設置事業（設置台数）	25	26	27	26	35
②福祉事務官勤販示機設置事業（設置台数）	35	35	37	35	40
③亦いび銀共同募金（募金額）	790	760	790	759	790
④歳末たすけあい募金（募金額）	500	479	500	484	500
⑤あいびこ（協力会員数）	32	28	37	24	52
⑥介護保険ボラボポイント制度（登録者数）	520	591	600	583	680
⑦あいびこ愛児支援センター（法人後見登録数）	2	5	5	7	7

造歩評価 A:十分できた	7件	今後の（取組み）評価	「拡充」…事業の拡大、拡充が必要。	2件
B:概ねできた	23件	「継続」…現在の形で継続する。		0件
C:あまりできなかつた	1件	「縮小」…対象や内容を縮小する。		4件
D:未実施	1件	「廃止」…廃止すべきもの。		
延べ事業合計数	32件	延べ事業合計数		32件

今後、重要な既存の事業・新しく必要となる事業（法人運営・支援事業・福祉事業）

事業名・課題名	必要な理由と地域への影響（成果）	事業課題（内容や時期など）について
①生活支援体制整備事業（市委託事業）	地域での支え合い、住民活動の拡がりが見込まれる。	令和元年度に、東2層活動がスタートとして、地区社会協力実施。今後事業を活用して地区社会協力活動が活発化・拡充が見込まれる。
(17) あいびこ後見支援センター	社会的な課題として、拡大することが見込まれる。	成年後見制度の周知、利用拡大、法人後見の件数増も見込まれる。

目標4. 一人ひとりが参加できる仕組みづくり

支授方針	市社協の主な支援事業	進捗評価	地域への影響（成果や課題）	
			今後の評価	評価
②保有備品の貸出事業	B	行事で使える健康器具の貸出が増加。	継続	継続
③西部福祉センター事業（市指定管理者制度）	B	ボランティアやシニアクラブへの導入、合同イベントを開催。	継続	継続
④生活支援体制整備事業（市委託事業）	B	「困った時」「介する中で、生活支援サービス団体を紹介した。地区社会による活動を支援。見守りや交流活動の強化を図る。	拡充	継続
⑤生活支援体制整備事業（市委託事業）	B	福祉団体の交流が図られた。事務局として支援。	継続	継続
⑥地区社会、民生委員、更生保護女性会の連携を図った。事務局として支援。	B	地区社会、民生委員、更生保護女性会の連携を図った。事務局として支援。	継続	継続
⑦地区社会への大学生の参加。バリアフリーの推進など。事務局として支援。	B	地区社会への大学生の参加。バリアフリーの推進など。事務局として支援。	継続	継続
⑧地区社会との交流が図れた。	A	多様な参画団体の交流が図れた。	継続	継続
⑨子どもに好評。障がい者も増えた。事務局として支援。	B	子どもに好評。障がい者も増えた。事務局として支援。	継続	継続
⑩市民共同で、障がい者ランティア活動促進。市と市民団体のつなき役として支援。	B	市民共同で、障がい者ランティア活動促進。市と市民団体のつなき役として支援。	継続	継続
⑪らしく楽あびこ	B	参画団体での情報交換、交流が図れた。事務局として支援。	継続	継続
⑫らしく楽あびこ	A	参画団体での情報交換、交流が図れた。事務局として支援。	継続	継続
⑬【新規】ふれあい・いきいきサロン支援事業	—	—	—	—
⑭【新規】見守り組織支援事業	—	—	—	—
⑮「新規」子どもの成長支援事業	A	2団体が併設し、事務局（受付窓口）として支援し評価された。	継続	継続
⑯地域福祉活動団体助成金交付事業	B	平成30年度に見直し、新たに4団体助成団体を追加した。	継続	継続
⑰ボランティア市民活動相談窓口「て・と・り・あ（施設サービス）	B	利用者は、増加傾向にあり、特に自治会活動での利用が増えた。	継続	継続
⑱ボランティアコーディネート事業	B	相談件数が増加傾向にあり、SNSなどの活用が結果につながった。	継続	継続
⑲ボランティア市民活動情報提供事業	B	それぞれ広報媒体を活用して情報提供を拡充した。	継続	継続
⑳ボランティア市民活動情報提供事業	B	保健料が無料という対応に評価をいただいた。	継続	継続
㉑ボランティア市民活動団体助成金交付事業	B	平成29年度に交付基準の見直しを実施。	縮小	—
㉒【新規】高齢者施設に開設する支援事業	—	—	—	—
㉓【新規】豊かな生活施設に関する支援事業	—	地区社会による活動がスタート。見守り活動や交流の場など賑わる住民が増えている。	拡充	継続
㉔生活支援体制整備事業（市委託事業）	B	地区社会の交流が図られたが、参画団体が減少している。担い手の減少。	継続	継続
㉕生活支援体制整備事業（市委託事業）	B	福祉団体の担当者、民生委員等の担い手の高齢化。	継続	継続
㉖生活支援体制整備事業（市委託事業）	B	参画する地区社協委員、民生委員等の担い手の高齢化。	継続	継続
㉗市民との協働事業	A	学生スタッフの担い手不足が懸念される。	継続	継続
㉘市民との協働事業	A	多様な参画団体の交流が図れた。当日ボランティア（企業の従業員など）が増えた。	継続	継続
㉙市民との協働事業	B	学生スタッフの担い手不足。	継続	継続
㉚市民との協働事業	B	あびこシニアクラブ（会員50名前後）の社会貢献活動、ハリアフリーにつながった。	継続	継続
㉛市民との協働事業	B	高齢社会の課題などを周知することができた。担い手の高齢化。	継続	継続
㉜市民との協働事業	A	10ヶ月実施・接種した。サービス提供者はいる。その情報を提供する必要がある。	廃止	継続
㉝市民参加型ホームヘルプサービス事業	C	協力会員の減少、協力会員の高齢化も課題。	継続	継続
㉞市民参加型ホームヘルプサービス事業	B	運転ボランティアの高齢化が課題。	継続	継続
㉟市民参加型ホームヘルプサービス事業	C	平成30度に新規傾聴ボランティア養成講座を実施。傾聴ボランティア44名→53名	継続	継続
㉟市民参加型ホームヘルプサービス事業	A	ネットワーク組織化。参画団体が増加している。	継続	継続
㉟市民参加型ホームヘルプサービス事業	—	新規登録者は順調に増加したが、辞退者が増加。平成30年度は前年度より減少した。	継続	継続
㉟介護保険ボランティアポイント制度（市委託事業）	B	登録者は増加、団体も増加傾向にある。	継続	継続
㉟ボランティア市民活動コーディネート事業	B	LINE登録者が98名。増加傾向にある。ホームページ閲覧での問合せも増えた。	継続	継続
㉟ボランティア市民活動情報提供事業	B	見守りの組織支援事業と並んでアソコン支援事業と合わせて検討。	継続	継続
㉟市民活動団体立ち上げ支援事業	B	毎年内容を変えているが、講座の受講者があまり集まらない。	継続	継続
㉟ボランティア育成事業	B	—	—	—

目標4. 一人ひとりが参加できる仕組みづくり

関連する福祉事業	進捗評価	地域への影響（成果や課題）	今後の評価
(1) コミュニティ・カフェ事業 認知症カフェ 緑力和茶屋（市委託事業）	B	家族、地域高齢者も参加し、つながり、理解が深まった。市内7ヵ所に増え、当会が開催する目的が薄れています。	継続
(2) コミュニティ・カフェ事業 高次脳機能障がい者カフェ ieto（リエット）	B	祖母、松戸の方など参加者の広がりがある。	継続
(3) [新規] コミュニティ・カフェ事業 仮称) ひきこもり支援カフェ	一		

進捗評価	A十分できだ	今後の（取組み）評価	「拡充」…事業の拡大、拡充が必要。
日頃ねできた	6件	「継続」…現在の形で継続する。	2件
Cあまりできなかつた	29件	「縮小」…対象や内容を縮小する。	3件
D未実施	2件	「廃止」…廃止・休止すべきもの。	1件
延べ事業合計数	0件	延べ事業合計数	1件
	：37件		37件

※支援事業のうち、実績値や目標値があるもの

目標値	2017年度（H29）			2018年度（H30）			2021年度（R3）			成果や課題
	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	
③西部福祉センター事業（利用者数）	31,600	34,912	31,700	30,740	32,000	32,000	ボランティアやシニアクラブへの場の貸出、合同でイベントを開催。			
②あいびこ（協力会員数）	32	28	37	24	52	52	協力会員の減少、協力会員の高齢化も課題。			
⑥介護保険カラーポイント制度（登録者数）	520	591	600	583	680	680	新規登録者は順調に増加したが、辞退者も増加。平成30年度は前年度より減少した。			
⑦・ヒ・リ・あ 会議室（利用件数）	205	178	225	187	240	240	利用者は、増加傾向にあるが、目標には届かなかった。			
⑧・ヒ・リ・あ 印刷機（利用件数）	365	336	385	376	400	400	利用者は、増加傾向にあるが、目標には届かなかった。			
⑨・ヒ・リ・あ コピー機（利用件数）	150	233	160	187	190	190	目標値が上回った。利用に干渉がある。近くに安く利用できる所がない為、喜ばれている。			
⑩・ヒ・リ・あ スクール（参加者数）	50	29	55	50	70	70	利用者は、増加傾向にあるが、目標には届かなかった。			
⑪ボランティアコーネット事業（コーディネート件数）	90	70	95	106	110	110	相談件数が増加傾向にあり、SNSなどの活用が結果につながっている。			
⑫ボランティア育成事業（受講者数）	15	17	20	14	20	20	毎年内容を変えているが、講座の受講者があまり集まらない。			

今後、重要な既存の事業・新しく必要となる事業（法人運営・支援事業・福祉事業）

事業名・課題名	必要性の理由と地域への影響（成果）	事業概要（内容や持期など）について
◎生活支援体制整備事業（市委託事業）	地域での支え合い、住民活動の拡充が見込まれる。	令和元年度に、地区社務による第2層活動がスタートした。「高齢者地域させあい活動」として、地区社協が実施。今後事業を活用して地区社会活動が活性化・拡充が見込まれる。

第5次我孫子市地域福祉活動計画 進捗評価表

2019年度中間見直し

目標5. 安心と安全を守る取り組み

支援方針		市社協の主な支援事業		進歩評価		地域への影響（成果や課題）		今後の評価	
支援方針1 あんしんカードの普及		⑩あんしんカードの普及		B		利用件数が増えている。 民生委員の協力が難しい。（地域差がある）。		継続	
支援方針2 災害に備える取り組みを支援します		⑪赤い羽根共同募金 ⑫ボランティア保険事業 ⑬災害救援ボランティアセンター事業		B		義理金の受付を実施。募金や寄付の推進に寄与できた。 無料で保険を掛けている事に評価された。 土日の対応（受付）が、難しい。		継続	
		⑭災害見舞金配布事業		B		講師派遣を行つたが、平時は特に事業をしていない。 災害にしつかりと取り組むには、常設型災害ボランティアセンターの設置が必要。		継続	

支援方針		市社協の主な支援事業		進歩評価		地域への影響（成果や課題）		今後の評価	
関連する福祉事業		(14) 生活福祉資金貸付事業（県社協委託事業）		A		相談60件、質問10件前後。教育資金が多い。他機関と連携し対応してきた。		継続	
(16) 災害見舞金配布事業		(14) 生活福祉資金貸付事業（県社協委託事業）		B		行政と連携し対応してきた。消化水による水害に対して見舞金を交付するか今後検討したい		継続	
		(16) 災害見舞金配布事業		C:あまりできなかった		進歩評価 A:十分できた B:概ねできた C:あまりできなかった D:未実施		0件 5件 0件 0件	
				延べ事業合計数		： 1件 ： 0件 ： 0件 ： 6件		「拡充」・「事業の拡大、拡充が必要。 「継続」…現在の形で継続する。 「縮小」…対象や内容を縮小する。 「廃止」…廃止・休止すべきもの。	
						延べ事業合計数		6件	

※支援事業のうち、実績値や目標値があるもの

2017年度(H29)					2018年度(H30)					2021年度(R3)					成果や課題		
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
⑩赤い羽根共同募金（募金額）	790	760	790	759	790	790	759	790	790	790	790	790	790	790	790	790	790
⑪あんしんカード配布事業 (配布本数)	18,000	18,857	19,000	19,363	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000

今後、重要な既存の事業・新しく必要となる事業（法人運営・支援事業・福祉事業）

事業名・課題名	必要性の理由と地域への影響（成果）	事業概要（内容や時期など）について
特になし。		

安心とゆとりのまち 住み続けたいまちづくり

我孫子北地区社会福祉協議会 進捗評価表

地区理念 「このまちで安心して暮らしつづけるために」

基本目標	A:十分できた	B:概ねできた	C:あまりできなかった	D:取り組めなかつた
目標1. 広げよう、つながりの輪	59%	15%	7%	19%
目標2. 学び、理解し、共にあゆむ	70%	10%	10%	10%
目標3. 支援が必要な人たちを支える	50%	25%	0%	25%
目標4. 一人ひとりが参加できる仕組みづくり	0%	0%	0%	100%
目標5. 安心と安全を守る取り組み	0%	0%	0%	100%
全 体	54%	13%	7%	26%

■■■今後、重要（拡充）となる事業■■■

- コミュニティサロン“きた”
- 認知症フォローアップ講座
- 福祉フォーラム

目標1. 広げよう、つながりの輪

我孫子北地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 交流の場の提供や活動の支援をします	①エリア福祉懇談会の開催	C	継続	久寺家、我孫子北まちづくり協議会から懇談会中止の要望があり、平成29年度から中止。根戸地区は地域会議がないため実施。 中止理由：地域会議の内容、メンバーが重複するため。
	②小学校児童と高齢者の交流会（昔遊び）	A	継続	これまでの課題であった、竹とんぼの作成者減少は、子ども達の安全性を考慮し、紙を利用した紙とんぼに変更。そのため種目を減らすことなく子ども達に遊びを提供できている。
	④保育園児と地域ボランティアとのふれあい	A	継続	ボランティアの高齢化が危惧されていたが、園や子ども達から喜ばれボランティアも元気に頑張ってくれている。
	⑩福祉ボランティア交流会	D	縮小	ボランティア同士の集まりが他でもできるようになり中止。
	⑪障害児者団体と関連施設との懇談会	D	縮小	当事者団体同士が横で繋がれる組織ができているため中止。
	⑫障がい児者関連施設製作品の展示即売会	A	拡充	製作品の展示即売会は、従来「我孫子北部地域文化祭」のみだったが「健康と福祉のつどい」でも販売が可能となり、販路拡大に協力できた。
	⑭子育てサロン「わ」	A	継続	幼児を抱える親同士が交流を図れる場の提供ができた。 参加者層を見てイベント内容を検討し、参加しやすい環境を整えた。
	⑯子育てサロン「わ」掲示板	B	継続	紙面をカラー化することで情報が見やすくなった。
	⑮子育て支援活動	B	継続	市が主催の子育て支援活動に参加し、子育てサロン「わ」のPRに繋がった。また、子育てサロンのノウハウが子育て支援活動に役立てることができた。
	⑯健康と福祉のつどい	B	継続	ニーズに合った健康と福祉に関する情報提供ができた。
	⑰コミュニティサロン“きた”	A	拡充	利用者の要望により、開催日や開催場所の増設を検討し、拡充していく。
活動方針2 福祉ネットワークを推進します	①エリア福祉懇談会の開催	B	継続	参加団体が増えたので、今後も地域の情報共有の場として開催していく。 (根戸地区のみ実施)
	②小学校児童と高齢者の交流会（昔遊び）	A	継続	学校とシニア団体との連携を密に今後も交流会を継続していく。
	③中学校生徒の福祉体験授業	A	継続	従来は地区社協関係者のみで実施してきたが、平成31年度は地域のボランティア団体の協力を得て開催することができた。
	④保育園児と地域ボランティアとのふれあい	A	継続	ボランティアと連携し、今後も開催していく。
	⑩福祉ボランティア交流会	D	縮小	他にネットワークが出来ているため中止。
	⑪障害児者団体と関連施設との懇談会	D	縮小	他にネットワークが出来ているため中止。
	⑭子育てサロン「わ」	D	継続	まちづくり協議会や行政の協力を得て、今後も安定的にイベントが開催できるよう努めていく。(会場の確保と月替わりイベント)
	⑰コミュニティサロン“きた”	A	拡充	サロン“きた”をとおして、住民同士の繋がりができた。
活動方針3 サロン活動の推進をします	⑭子育てサロン「わ」	A	継続	毎回、新規利用者が増えている。
	⑰コミュニティサロン“きた”	A	拡充	参加者同士の交流に繋がっている。活動日や活動場所増設を検討していく。
活動方針4 福祉に関する情報提供をします	③中学校生徒の福祉体験授業	A	継続	従来は車椅子体験授業のみだったが、平成31年度から学校の要望もあり、高齢者疑似体験授業も行うようになった。今まで以上に福祉に関する情報提供ができた。
	⑪障害児者団体と関連施設との懇談会	C	縮小	事業中止に伴い、福祉に関する情報提供はなし。
	⑯子育てサロン「わ」掲示板	A	継続	他地区的団体情報も提供し、親子に役立つ情報提供が出来た。 また紙面をカラー化し、子育てサロン「わ」新規利用者増に繋がっている。
	⑰健康と福祉のつどい	A	継続	ニーズに合わせて、毎回内容を精査し提供している。 そのため、参加者から喜ばれている。
	⑫広報紙の「あびこ北地区社協だより」	A	継続	今後の地区社協活動方針などを含め、毎回タイムリーな情報提供がされている。また、地区社協独自でブログを開設し、併せて情報提供を行っている。

進捗評価 A:十分できた	16事業
B:概ねできた	4事業 小計 20事業
C:あまりできなかった	2事業
D:取り組めなかつた	5事業 全体 7事業

《今後、重要（拡充）となる事業》
○コミュニティサロン“きた”
○福祉フォーラム

目標2. 学び、理解し、共にあゆむ

我孫子北地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 学習会の場を提供します。	③中学校生徒の福祉体験授業	A	継続	車椅子、高齢者疑似体験の授業以外に認知症センター養成講座の実施に向け、学校と調整を図っていきたい。
	⑤車椅子・高齢者疑似体験指導者養成講習会	C	継続	地区社協委員の講習会参加者を増やしていく。
	⑥認知症センター養成講座	B	継続	開催要望が多いため、今後も定期的に開催をしていく。
	⑦認知症センターフォローアップ講座	A	拡充	認知症センターの勉強できる場を増やしていく。民間企業と協力し、今後も実地訓練を継続していく。
	⑧親子で認知症センターになろう！	A	継続	準備に要する手間と参加者のバランスが取れない。今後は開催回数の見直しを行っていく。
	⑨やさしい介護教室	A	継続	開催回数と開催場所、講義内容の見直しを図っていく。
	⑩普通救命講習Ⅰ（AED講習会）	D	縮小	多くの自治会で消防訓練とセットで行っているため中止。
	⑪委員研修会 北地区	A	継続	委員の改選期は、早い時期で我孫子の福祉について情報提供を行っている。改選期→我孫子の施設めぐり
活動方針2 福祉教育を推進します	③中学校生徒の福祉体験授業	A	継続	車椅子、高齢者疑似体験の授業以外に認知症センター養成講座の実施も学校と調整を図っていいく。
	⑧親子で認知症センターになろう！	A	継続	今後も引き続き福祉教育の一貫として、認知症への理解を深める普及啓発を行っていく。開催回数の見直しを図っていく。

進捗評価 A:十分できた	7事業
B:概ねできた	1事業 小計 8事業
C:あまりできなかった	1事業
D:取り組めなかった	1事業 全体 2事業

《今後、重要（拡充）となる事業》
○認知症センターフォローアップ講座

目標3. 支援が必要な人たちを支える

我孫子北地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 見守り活動を推進します	⑬電話訪問サービス	B	継続	「電話 de 証欺」への不安から対象者となる方が電話に対する不安を抱くようになっている。今後は電話以外の実施方法なども検討していく必要がある。
	⑭コミュニティサロン“きた”	A	拡充	開催回数と開催場所を増やし、見守りの場を増やしていく。
活動方針2 市社協と協力し、生活支援に取り組みます				
活動方針3 福祉施設や福祉団体の支援をします	⑪障害児者団体と関連施設との懇談会	D	縮小	個々の団体との懇談会は中止したが、販路の提供などで引き続き支援を行っている。
	⑫障害者施設の展示即売会	A	拡充	販路の提供場所を増やして支援を行っていく。

進捗評価 A:十分できた	2事業
B:概ねできた	1事業 小計 3事業
C:あまりできなかった	0事業
D:取り組めなかった	1事業 全体 1事業

《今後、重要（拡充）となる事業》
○コミュニティサロン“きた”

目標4. 一人ひとりが参加できる仕組みづくり

我孫子北地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 ボランティア・市民活動ができる場を提供します	⑤車椅子・高齢者疑似体験指導者養成講習会	D	縮小	一般の参加者がいないため、対象者を委員にしている。
	⑩福祉ボランティア交流会	D	縮小	ボランティアに参加したい人と求めている人の橋渡しの場で始めたが、その後の活動に繋げることが困難であったため、中止。
	⑪障害児者団体と関連施設との懇談会	D	縮小	懇談会は開催されていないが、ボランティアの相談があれば随時紹介等を行っている。

進捗評価 A:十分できた	○事業
B:概ねできた	○事業 小計 ○事業
C:あまりできなかった	○事業
D:取り組めなかった	3事業 全体 3事業

《今後、重要（拡充）となる事業》

目標5. 安心と安全を守る取り組み

我孫子北地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 あんしんカードの普及				
活動方針2 災害に備える取り組み	⑯北地区福祉フォーラム	D	縮小	災害への備えは、自治会やまち協の地域会議で取組んでいるため、地区社協では別の案件について検討していく。
	⑰普通救命講習Ⅰ（AED講習会）	D	縮小	多くの自治会で個々に実施しているため中止。

進捗評価 A:十分できた	事業
B:概ねできた	事業 小計 事業
C:あまりできなかった	事業
D:取り組めなかった	2事業 全体 2事業

《今後、重要（拡充）となる事業》

安心とゆとりのまち 住み続けたいまちづくり

我孫子南地区社会福祉協議会 進捗評価表

地区理念 「 一人がみんなのために皆がひとりのために 」

基　本　目　標	A：十分 できた	B：概ね できた	C：あまりで きなかった	D：取り組め なかった
目標1. 広げよう、つながりの輪	89%	0%	0%	11%
目標2. 学び、理解し、共にあゆむ	75%	25%	0%	0%
目標3. 支援が必要な人たちを支える	75%	25%	0%	0%
目標4. 一人ひとりが参加できる仕組みづくり	0%	0%	0%	0%
目標5. 安心と安全を守る取り組み	0%	0%	100%	0%
全　　体	73%	11%	11%	5%

■■■今後、重要（拡充）となる事業■■■

- 1-1 子育て支援事業：とおんきごう
- 1-2 地域懇談会
- 2-1 委員研修会
- 3-3 福祉フェスティバル
- 5-2 安心安全事業

目標1. 広げよう、つながりの輪

我孫子南地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 交流の場の提供や活動の支援をします	②世代間交流	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・四小5年生の疑似体験授業（平成30年度新規）、囲碁・将棋について、地域の方の参加があり、地区社協の働きを広めた。 ・内容充実のため、広報等で地域の力を募る。 ・小・中学校との連携を図りたい。
	⑦子育て支援事業：とおんきごう	A	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・若いお母さんの交流の場となって、内容も充実している。 ・利用者が減少しており、宣伝方法を検討していく。
	⑨お楽しみ会食会	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の外出する機会となっており、参加者同士の交流もはかることができる。 ・参加者の顔ぶれがあまり変わらないため、他の場所でも実施できるように検討。 ・調理実習を取り入れ、男性募集にも努めていく。
	⑪高齢者日帰りバス旅行	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の外出のきっかけとなり、参加者の交流の場となっている。 ・南地区社協だよりを回覧して宣伝しているため、回覧の回り具合で申込のタイミングに差が出てしまう。今後の対応を取り組み中。
	⑫福祉フェスティバル	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が定着してきており、地域の交流の場となっている。 ・災害義援金の募金を実施しており、成果がある。
	⑯広報誌「南地区社協だより」	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・回覧方法を各戸配布にしてもらうように、これからも続けていく。 ・分かりやすく的確に伝えていくように取り組んでいく。
活動方針2 福祉ネットワークを推進します	⑤地域懇談会	A	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から「我孫子南まちづくり協議会」との共催事業となり、会の主旨が理解され、参加町会が年々増加している。 ・テーマを3者（町会、南まち協、地区社協）で検討をしていく、いずれは町会主体でやっていくことを目指す。
活動方針3 サロン活動の推進をします	⑬手賀沼ふれあいサロンとの連携	D	縮小	<ul style="list-style-type: none"> ・南地区社協は広報紙でサロンの紹介をし、サロンは南地区社協の宣伝をしている。
活動方針4 福祉に関する情報提供をします	⑯広報誌「南地区社協だより」	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・回覧方法を各戸配布にしてもらうように、これからも続けていく。 ・分かりやすく的確に伝えていくように取り組んでいく。

進捗評価 A:十分できた	8事業
B:概ねできた	事業 小計 8事業
C:あまりできなかった	事業
D:取り組めなかった	1事業 全体 9事業

《今後、重要（拡充）となる事業》
子育て支援事業：とおんきごう
地域懇談会

目標2. 学び、理解し、共にあゆむ

我孫子南地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 学習会の場を提供します。	④健康まつり	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・健康生活に关心があり、毎回過去の自分の記録を持参して参加してくれる方もおり喜ばれている。 ・午前、午後ともに立案をしっかりと取り組んでいく。
	⑤認知症サポーター養成講座	B	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の家族には学ぶ事ができる良い機会である。 ・参加者は増えているが宣伝不足感があるため、宣伝方法を検討していく。
	⑥介護予防教室	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・住民同士が声掛けをし、新しい人たちが増え、交流の場になっている。 ・より広い会場を検討していく。
	⑩委員研修会	A	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設の見学会ができ、交流の場となっている。 ・委員は各町会から出ているので、町会の様子を知る機会になっている。 ・見学場所等、より充実した内容を目指す。
活動方針2 福祉教育を推進します				

進捗評価 A:十分できた	3事業
B:概ねできた	1事業 小計 4事業
C:あまりできなかった	事業
D:取り組めなかった	事業 全体 4事業

《今後、重要（拡充）となる事業》
委員研修会

目標3. 支援が必要な人たちを支える

我孫子南地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 見守り活動を推進します	① 我孫子南フレンドネット	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・南地区全世帯にチラシを配布したことにより、5つの町会から説明要請があった。 ・委員及び町会に見守りの意識が生まれ、活動に取り組んだ。 ・各町会の中からフレンドネット委員へつなげていきたい。
	⑩電話訪問サービス	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・見守りを通じて利用者が増加しており、立会人ボランティアも増員することができた。 ・電話不審のため地域に浸透しにくいが、民生委員を通じてさらに宣伝をしていく。
活動方針2 市社協と協力し、生活支援に取り組みます				
活動方針3 福祉施設や福祉団体の支援をします	⑧障がい者福祉施設等の支援	B	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉フェスティバル等で理解を深める。 ・パネル展示等で施設の紹介をし、協力を続けていく。
	⑩福祉フェスティバル	A	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が定着してきており、地域の交流の場となっている。 ・災害義援金の募金を実施しており、成果がある。

進捗評価 A:十分できた	3事業
B:概ねできた	1事業 小計 4事業
C:あまりできなかった	事業
D:取り組めなかった	事業 全体 4事業

《今後、重要（拡充）となる事業》
福祉フェスティバル

目標4. 一人ひとりが参加できる仕組みづくり

我孫子南地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 ボランティア・市民活動ができる場を提供します				

進捗評価 A:十分できた	事業
B:概ねできた	事業 小計 事業
C:あまりできなかった	事業
D:取り組めなかった	事業 全体 事業

《今後、重要（拡充）となる事業》

目標5. 安心と安全を守る取り組み

我孫子南地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 あんしんカードの普及	⑭安心安全事業	C	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・あんしんカードを知らない人が多いため、福祉フェスティバル等で宣伝をしている。 ・他の事業や町会に積極的に話しをしていく。
活動方針2 災害に備える取り組み	⑭安心安全事業	C	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・あんしんカードを知らない人が多いため、福祉フェスティバル等で宣伝をしている。 ・他の事業や町会に積極的に話しをしていく。

進捗評価 A:十分できた	事業
B:概ねできた	事業 小計 事業
C:あまりできなかった	事業
D:取り組めなかった	事業 全体 事業

《今後、重要（拡充）となる事業》

安心安全事業

安心とゆとりのまち 住み続けたいまちづくり

天王台地区社会福祉協議会 進捗評価表

地区理念 「 健康であかるく たのしく なかよく暮らしていくために 」

基本目標	A:十分できた	B:概ねできた	C:あまりできなかった	D:取り組めなかった
目標1. 広げよう、つながりの輪	84%	0%	16%	0%
目標2. 学び、理解し、共にあゆむ	72%	14%	14%	0%
目標3. 支援が必要な人たちを支える	40%	20%	20%	20%
目標4. 一人ひとりが参加できる仕組みづくり	100%	0%	0%	0%
目標5. 安心と安全を守る取り組み	34%	33%	0%	33%
天王台地区社協独自の取り組み	100%	0%	0%	0%
全 体	70%	10%	14%	6%

■■■今後、重要（拡充）となる事業■■■

2-1-⑧ 高齢化に伴う介護予防の推進事業「介護予防教室」（シニアいきいき講座）2-2-⑩ 学校における福祉教育の推進事業（「認知症サポーター養成講座」「高齢者疑似体験」）3-2-新規 生活課題の周知と生活支援活動の検討（地域ささえあい活動）

目標1. 広げよう、つながりの輪

天王台地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 交流の場の提供や活動の支援をします	1-1-①天王台地域や学校との交流事業「世代間交流」	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○二小祭り、三小PTAバザー、高野山小忘れあい祭り、我孫子中バザーなど、世代間交流（昔遊び・バザー）に参加した。 また、保護者との交流も図れた。 ○高野山小1年生を対象とした昔の遊びにH30年度より参画した。
	1-1-②高齢者との交流事業 「ふれあい日帰りバスツアー」 「お楽しみ会」 「男性のための料理教室」	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○バスツアー・お楽しみ会は1人参加の方も含め、食事での会話も広がり、交流ができ、参加者に楽しんでいただいた。 ○男性の参加が少ない。呼び掛けをするも参加が難しい。夫婦参加や独居男性へ特に呼び掛けていきたい。独居男性は、別事業からのアプローチが必要。 ○各イベント毎回好評だが、参加者が固定している。新規参加を促したい。 ○男の料理教室は、懇親を図れる運営も検討が必要。
	1-1-③障がい者との交流事業	C	縮小	<ul style="list-style-type: none"> ○むつぼし主催行事に参加してきたが、令和元年度に中止となり、交流事業が難しくなった。 ○障がい者との交流は重要であり、今後は「3-3-⑩障がい者及び福祉施設等の支援事業」に包含して実施していく。
活動方針2 福祉ネットワークを推進します	1-2-④a) 福祉懇談会の実施 (自治会・民児協他)	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○地域課題の情報交換、交流が図れた。地域課題が把握でき今後の地域活動に役立つ資料となった。 ○管轄内45自治会があるが、参加率向上が懸念事項。また、参加自治会も固定しているのが課題。
	1-2-④b) まちづくり協議会 (天北地区・こもれび)との連携	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○双方の各種事業で連携・共催した。また、地域の商店会行事（市民まつり、ふれあい夏祭り等）にも参加、交流を図った。 ○地区社協の知名度アップも図れた。
	1-2-④c) 第三地区民生委員児童委員協議会 との交流	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ざさえあい活動や地域課題について共有できた。 ○密接な関係を築き共に地域福祉や見守り活動を推進したい。
	1-2-④d) ボランティア団体との交流	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティアメッセの参加団体が増え交流が図れた。 ○高齢者疑似体験、おしゃべりサロン等で「あびこシニアクラブ」や「カラフルバルーンの会」等から支援いただき交流が図れた。
	1-2-④e) 高齢者なんでも相談室との連携	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○「介護予防教室」「認知症サポーター養成講座」「おしゃべりサロン」等で連携し、共催事業が増えている。 ○「みんなで認知症の人を支えよう」の趣旨で開催されたRUN伴+あびこに参加した。
	1-2-④f) 障がい者まちかど相談室との連携	C	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉懇談会での意見交換・交流にとどまっている。 ○他の連携、つながりを検討していきたい。
活動方針3 サロン活動の推進をします	1-3-⑤ 高齢者の交流の場づくり事業 「おしゃべりサロン」	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○満足し喜んでいる様子が伺え、参加者も増加した。特に、歌声おしゃべりサロン、出前おしゃべりサロン等の拡大おしゃべりサロンが好評だった。 ○男性の参加が少ない。男性の為のサロンも検討したい。
	1-3-⑥ 子育てサロン事業 「のびっ子クラブと交流の場づくり」	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○広報媒体を充実拡大し参加者が増えた。 ○出前のびっ子クラブや「たいこで遊ぼう」が好評。 ○すくすく広場で親子交流、バルーン等が喜ばれた。 ○川村学園女子大学生や保健センターから支援いただいた。
活動方針4 福祉に関する情報提供をします	1-4-⑦ 福祉情報の提供と認知度UP事業 「ゆうゆうだより他」発行	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○年4回、各10,300部発行。他ポスター・チラシを作成。 ○印刷物の外注化（フルカラー）を検討していきたい。 ○積極的に市社協ホームページを利用してイベント周知に努めた。

進捗評価 A:十分できた	10事業
B:概ねできた	事業 小計10事業
C:あまりできなかった	2事業
D:取り組めなかった	0事業 全体12事業

《今後、重要（拡充）となる事業》

目標2. 学び、理解し、共にあゆむ

天王台地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 学習会の場を提供します。	2-1-⑧ 高齢化に伴う介護予防の推進事業 「介護予防教室」(シニアいきいき講座)	A	拡充	○ささえあい活動の一環として、拡大していく必要がある。 ○自治会集会所などで開催を増やしたい。また、健康や学習の目的の他に、仲間づくり・交流(サロン)も目的としていく。 ○広報あびこで告知し我孫子市全域から継続的に参加を得ている。男性参加者も増加傾向。 ○こもれび・天北まち協と共に年8回開催している。また、令和元年度は「ひなぎくの会」、「高野山自治会」、「相和会」のいきいき講座を支援した。2010年から10年通算62回実施。
	2-1-⑨ 高齢化に伴う介護予防の推進事業 「認知症センター養成講座」	A	継続	○年に一度養成講座を実施した。 ○商店会等へ講座を紹介、商店会主催の講座や郵便局(企業)での研修などが行われた。
	2-1-⑩ 高齢化に伴う介護予防の推進事業 「健康マージャン教室」	A	継続	○とても好評で、認知症予防、交流につながっているが、場所や指導ボランティアの確保が難しく拡大することが難しい。
	2-1-⑪ 健康で元気な生活の推進事業 「健康フェア」	A	継続	○南北2回、延べ140名程度参加。リピーターが多く、新規参加が少ない。講演会の内容で参加者数が左右される。 ○まち協と共に事業であり、市社協からも情報(講師等)を得て協力しながら企画を充実させて実施していきたい。
	2-1-⑫ 健康で元気な生活の推進事業 「福祉に関する各種講座」	B	継続	○自治会等と共に、「シニアいきいき講座」を実施。 ○新規講座に取り組めなかった。行政機関等との連携が必要。
	2-2-⑬ 学校における福祉教育の推進事業	A	拡充	○地区社協の働き掛けで、小・中学校での「認知症センター養成講座」や「高齢者疑似体験」の実施校が増えた。 (H30年度～高野山小、R元年度～我孫子中で実施) ○今後も積極的に働き掛け福祉教育を推進していく。
活動方針2 福祉教育を推進します	2-2-⑭ 地域における福祉活動の推進事業	C	縮小	○ボランティアメッセージの企画(福祉体験など)で実施。 ○自治会との共催企画が難しい。今後は「2-1-⑫健康で元気な生活の推進事業「福祉に関する各種講座」に包含して実施していく。

進捗評価 A:十分できた	5事業
B:概ねできた	1事業 小計 6事業
C:あまりできなかった	1事業
D:取り組めなかった	事業 全体 7事業

『今後、重要(拡充)となる事業』
2-1-⑧ 高齢化に伴う介護予防の推進事業「介護予防教室」
2-2-⑬ 学校における福祉教育の推進事業

目標3. 支援が必要な人たちを支える

天王台地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 見守り活動を推進します	3-1-⑮ 高齢者の見守り事業 「電話訪問サービス」の推進	A	継続	○電話訪問スタッフ定例会・勉強会を毎月実施、また傾聴ボランティア養成講座も毎年実施した。 ○感謝の声、元気になったなど評価された。また、高齢者なんでも相談室や民生委員との連携も図れた。新規利用者も増加した。
	3-1-⑯ 高齢者の見守り事業 「身近な見守り活動」の推進	C	継続	○「ささえあい活動」の中で、見守りに関する課題を抽出したが、事例を調査・検証することができなかった。
	3-1-⑰ 子供の見守り事業	D	継続	○子どもの見守りは重要な活動であるが、実施出来なかった。高野山小「こども見守り隊」への参加など、事業は検討していく。
活動方針2 市社協と協力し、生活支援に取り組みます	3-2-新規 生活課題の周知と生活支援活動の検討 (地域ささえあい活動)	—	—	○福祉懇談会でのワークショップで浮かび上がった生活課題に対する活動を行う。 ・生活課題を周知し地域課題を共有・理解してもらう。 ・生活課題に対しての取組みの検討など。
	3-2-⑯ 福祉サービスの情報収集と提供事業	B	継続	○「ミニお助け隊」PRチラシの配布、「高齢者日常生活困った時ガイド」をゆうゆうだよりでPR。
活動方針3 福祉施設や福祉団体の支援をします	3-3-⑯ 障がい者及び福祉施設等の支援事業	A	継続	○各種事業でのお菓子やお弁当(制作物)の購入 ○ボランティアメッセージで、販売の場の提供を行った。

進捗評価 A:十分できた	2事業
B:概ねできた	1事業 小計 3事業
C:あまりできなかった	1事業
D:取り組めなかった	1事業 全体 5事業

『今後、重要(拡充)となる事業』
3-2-新規 生活課題の周知と生活支援活動の検討(地域ささえあい活動)

目標4. 一人ひとりが参加できる仕組みづくり

天王台地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 ボランティア・市民活動ができる場を提供します	4-1-⑩ 地域の福祉人材の育成事業 「ボランティアメッセ」 「協力ボランティアの養成」	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○毎年、多くの方・団体のご協力により開催。(7年目) ○シニア層の地域デビューを後押し。ボランティア団体の活動紹介など実施した。事実デビューされた方もいる様子。もっと来場者を増やしていきたい。 ○健康マージャン教室の指導ボランティア(7名)が増え、全体として協力ボランティア登録者が増加している。

進捗評価 A:十分できた	1事業
B:概ねできた	事業 小計 1事業
C:あまりできなかった	事業
D:取り組めなかった	事業 全体 1事業

《今後、重要（拡充）となる事業》

目標5. 安心と安全を守る取り組み

天王台地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 あんしんカードの普及	5-1-⑩ あんしんカード推進事業	B	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○「健康フェア」「お楽しみ会」で紹介DVDを上映。また、「ゆうゆうだより」や各種行事でも啓蒙推進した。
活動方針2 災害に備える取り組み	5-2-⑩ 安心・安全な地域づくり事業 「地域の安心・安全マップ作り」の推進	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○7地区（高野山、東我孫子、泉、天王台、下ヶ戸、青山/南青山、青山台）の安心安全マップを作成、改訂した。 ○鎮魂竹宵の集い・天王台北まち協防災フェスタに参加した。
	5-2-⑩ 安心・安全な地域づくり事業 「災害時要援護者等、地域の中での見守り活動」の支援	D	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○具体的な活動ができなかった。今後、具体的にどのように取り組めるのか、市社協よりの情報収集や取組み指導支援のもと災害対応を検討していく。

進捗評価 A:十分できた	1事業
B:概ねできた	事業 小計 2事業
C:あまりできなかった	0事業
D:取り組めなかった	1事業 全体 3事業

《今後、重要（拡充）となる事業》

天王台地区社協独自の取り組み

天王台地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
—	独自-⑩ 委員研修の実施と能力開発	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○毎年、委員研修会を実施。 ○地区社協活動に活かせる研修場所の選択に限界がある。 ○新規委員が活動しやすいよう「天王台地区社協活動マニュアル」を作成した。

進捗評価 A:十分できた	1事業
B:概ねできた	事業 小計 1事業
C:あまりできなかった	事業
D:取り組めなかった	事業 全体 1事業

《今後、重要（拡充）となる事業》

安心とゆとりのまち 住み続けたいまちづくり

湖北地区社会福祉協議会 進捗評価表

湖北地区理念 「 地域の福祉はみんなで支えよう！」

基 本 目 標	A : 十分 できた	B : 概ね できた	C : あまりで きなかった	D : 取り組め なかった
目標1. 広げよう、つながりの輪	25%	69%	0%	6%
目標2. 学び、理解し、共にあゆむ	45%	55%	0%	0%
目標3. 支援が必要な人たちを支える	40%	20%	20%	20%
目標4. 一人ひとりが参加できる仕組みづくり	33%	50%	0%	17%
目標5. 安心と安全を守る取り組み	0%	100%	0%	0%
全 体	32%	59%	2%	7%

■■■今後、重要（拡充）となる事業■■■

- こほく福祉まつり
- 福祉懇談会
- 認知症サポーター養成講座
- 地域ささえあい活動
- 福祉教育推進事業

目標1. 広げよう、つながりの輪

湖北 地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 交流の場の提供や活動の支援をします。	H31 新規事業 大人の折り紙教室	A	継続	参加者同士での交流ができるようになり、参加者同士で集まり、折り紙をしながら、交流をする場面も見られる。活動の場を見守っていきたい。
	こぼく福祉まつり	A	拡充	毎年12月、地区社協・学校・介護施設・障害者団体・地域活動支援センター・地域住民が参加する一大イベント。子どもボランティアも多数参加して、地域住民との交流の場として定着。
	新春映画会 (H31「地域お楽しみ会」へ改称)	B	継続	毎年お正月にコホミンで映画上映や。高齢者を中心とした地域住民の交流の場となる。
	福祉教育推進事業 世代間交流事業	A	継続	げん気フェスタ、新木小、湖北小のPTA/バザーに昔遊びで参加。親子で楽しんでもらっている。子どもの遊び方改革の助けをしたい。今後も開催を持ち、各イベントのPRもしていきたい。
	福祉教育推進協議会の実施	B	拡充	福祉教育推進指定終了後も、定期的に開催できている。学校同士の横のつながりもでき、よい関係づくりができている。今後の活動の幅を広げていきたい。
	ひとり暮らし高齢者日帰りバス旅行	B	継続	毎年9~10月、湖北地区と新木地区に分けて多くの参加者に楽しんでもらっている。バス定員が課題。昨年は希望者がバスの定員をオーバーして、委員がミニバンで追跡。
活動方針2 福祉ネットワークを支援します	子育て支援事業 おやっこルーム・ひろば	B	継続	おやっこルームについては、新木まちづくり協議会との協働開催。今後も協力し行なっていきたい。
	高齢者見守り事業 健康マージャン	B	継続	健康マージャン教室の卒業生を対象に大会を開催した。各地区内で活動を継続している卒業生のネットワークづくりをし、活動継続を促す。
	福祉懇談会	B	拡充	AED講習会を実施。民生委員・自治会関係者・地区社協委員の顔の見える関係づくり。今年は防災で避難所訓練予定。今後は防犯講習会を予定。
	こぼく健康まつり	A	継続	新木地区開催時に新木まちづくり協議会と共に開催で行なっている。まち協とのよりよい関係づくりができている。
	福祉教育推進協議会の実施	B	拡充	福祉教育推進指定終了後も、定期的に開催できている。学校同士の横のつながりもでき、よい関係づくりができている。学校と地区社協、福祉施設等ネットワークを形成したい。
活動方針3 様々なサロン活動の支援をします	子育て支援事業 おやっこルーム	B	継続	PRと企画の充実で参加人数が増加している。今後も継続したい。
	子育て支援事業 おやっこひろば	B	縮小	0歳児対象にしているため、参加人数が減少している。季節のイベントは多数集まるので、毎月から隔月へ移行する。
	H31 新規事業 居場所づくり	D	継続	南新木で体操教室を実施する。ボランティア募集とPR活動が必要。
活動方針4 福祉に関する情報提供をします	新春映画会 (H31 地域おたのしみ会へ改称)	B	継続	受付の横で社協の活動をパネルで展示、安心カード紹介や健康に關すること、防犯防災に関するミニ講演を開催し、情報を提供している。
	こぼく地域社協だより	B	継続	黄色が社協カラーとして浸透。H31年4回から年3回発行に変更。行事のタイミングがずれることもあり、年4回に戻すか検討が必要。カラー化が課題。

進捗評価 A:十分できた	4事業
B:概ねできた	11事業 小計 15事業
C:あまりできなかった	0事業
D:取り組めなかった	1事業 全体 16事業

《今後、重要（拡充）となる事業》
こぼく福祉まつり

目標2. 学び、理解し、共にあゆむ

湖北地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 学習会の場を提供します。	こぼく福祉まつり	A	縮小	ミニ介護教室や脳トレの体験学習会を実施。参加者が少ないのが課題。今後の実施について要検討。
	健康マージャン教室	A	継続	高齢で元気な方が家に閉じこもらない活動。卒業生が100人を越え、地元でサークル活動継続。初心者の参加が減少、上級者増加。教室の開催を検討する。
	H29 新規事業 脳の健康教室	B	継続	学習サポーターと受講生が楽しく学習し、交流ができている。参加人数の減少がみられるので募集のPR工夫が必要。
	H31 新規事業 大人の折り紙教室	A	継続	6回開催され、おひな・めひなを作成。イベントに出場展示、好評。卒業生は「折り紙サークル」で継続。引き続き半年6回で教室継続予定。
	こぼく健康まつり	B	継続	春と秋2回開催。健康チェックの前に講演や体操教室を行う。脳の健康教室体験を実施。今後、健康に関する講演の内容を充実させたい。
	委員研修	B	継続	障がい者施設や防災センター等の見学を実施、社会福祉の見識を深めている。委員同士の交流を深めて行く。
	H31 新規事業 囲碁教室	B	継続	小学生の親子4組でスタート。初心者にていねいな指導が必要。
	認知症サポーター養成講座（自治会）	B	拡充	3つの自治会で実施。社協参加27自治会に順次展開していく。次年度以降も継続させていただきたい。
	こぼく福祉まつり	B	継続	子どもに社会体験（司会・バザー販売・受付・募金活動）させる。疑似体験、車イス体験をさせる機会の提供。
活動方針2 福祉教育を推進します	福祉教育推進事業 認知症サポーター養成講座	A	継続	H26～28指定期間終了後も、学校・社協・なんでも相談室が連携、協力し講座開催が行えている。特支では、疑似体験と講座を組み合わせたことで、より理解しやすくなった。新木小では、授業参観で行い、親へ啓発が行えている。特別支援学校もわかりやすい内容に変えて行うようになり、好評。他校にも展開して行きたい。
	福祉教育推進事業 世代間交流事業	A	継続	小中学校に疑似体験や車いす体験の指導にあたり授業に参加しています。

進捗評価 A:十分できた	5事業
B:概ねできた	6事業 小計11事業
C:あまりできなかった	0事業
D:取り組めなかった	0事業 全体11事業

《今後、重要（拡充）となる事業》
こぼく福祉まつり
認知症サポーター養成講座（自治会）
福祉教育推進事業

目標3. 支援が必要な人たちを支える

湖北 地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 見守り活動を支援します	ひとり暮らし高齢者日帰りバス旅行	B	継続	参加者と民生委員と地区社協委員が交流でき、顔の見える関係づくりに役立っている。見守り活動として今後発展させていきたい。
活動方針2 市社協と協力し、生活支援に取り組みます。	こぼく福祉まつり	A	継続	赤い羽根募金として福祉バザーは子どもボランティアが大活躍で、昨年はいずれも金額は過去最高。コホミンの第二学習室は、バザー品を全品並べるには狭く、テーブルの後ろは売れ残った。令和2年度は、第一学習室でブルーシートに広げて販売することを検討。
活動方針3 福祉施設や福祉団体の支援をします。	こぼく福祉まつり	A	継続	福祉施設に販売の場を提供し、好評。 特別支援学校の製作品を購入し、記念品及びお礼として配布している。昨年は施設の販売を屋外で計画したが、大雨で例年通り室内で実施。模擬店は、12月は寒いので、引き続き室内で行うよう変更する。
	こぼく健康まつり	D	継続	介護施設との協働があまりできなかった。 高齢者の参加が減少している為、送迎車を介護施設に担当してもらうよう検討していく。まつりの参加は個人単位の参加に留めた為、施設や団体での参加は無かった。次回は施設や団体の参加に取り組む。
	H31 新規事業 ほくほく健康教室	C	継続	湖北・湖北台なんでも相談室との共催事業。参加人数が少ないため、PRを強化したい。

進捗評価 A:十分できた	2事業
B:概ねできた	1事業 小計 3事業
C:あまりできなかった	1事業
D:取り組めなかった	1事業 全体 5事業

《今後、重要（拡充）となる事業》

一人暮らし高齢者バス旅行

目標4. 一人ひとりが参加できる仕組みづくり

湖北 地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 ボランティア・市民活動ができる場を提供します。	こぼく福祉まつり	A	拡充	子どもボランティアの多数参加。（昨年は小中高合計80名） 福祉まつりの全部の箇所に配置、社会体験をしてもらい好評。 自主的に参加するよう一過性をせず、地道に次へつなげ行く。
	子育て支援事業おやっこルーム・ひろば	B	継続	ボランティアの人数も変わらず、毎月順調。もう少し歌のレパートリーを広げたい。
	高齢者見守り事業 健康マージャン	B	継続	教室開催時に講師や生徒に欠員が出た時は、社協の委員や卒業生にボランティアをお願いしている。
	福祉教育推進事業 世代間交流事業	B	継続	昔遊びは、スマホゲームと比較し成長期の子どもに「理」ありと判断され好評である。引き続きボランティアで参加する。
	H31 新規事業 居場所づくり	D	継続	体験教室を手伝うボランティアの募集が必要。（会場準備、受付など）活動は、できる時にできるだけでOKとする。
	H31 新規事業 大人の折り紙教室	A	継続	講座生は、活動を継続しながら、世代間交流のボランティアとして活動の場を提供し、子供に折り紙を教えている。 メンバーには、孫のいる人が少ないとため、好評を得た

進捗評価 A:十分できた	2事業
B:概ねできた	3事業 小計 5事業
C:あまりできなかった	0事業
D:取り組めなかった	1事業 全体 6事業

《今後、重要（拡充）となる事業》

居場所づくり

目標5. 安心と安全を守る取り組み

湖北 地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗 評価	今後の 取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 あんしんカードの普及	福祉懇談会	B	継続	AED 講習会時にあんしんカードの PR 行った 最終的に、地域全戸に配備が望まれる。
	新春映画会（H3 1 地域お楽しみ会）	B	継続	映画上映前にあんしんカードの PR をし、受付で あんしんカードを販売した。
活動方針2 災害に備える取り組み	福祉懇談会	B	拡充	防災への取り組み強化が望まれる。「避難所運営訓練」を社協委員、民生委員、自治会防災担当を対象とする。

進捗評価 A:十分できた	〇事業
B:概ねできた	3業 小計 3業
C:あまりできなかった	〇事業
D:取り組めなかった	〇事業 全体 3事業

『今後、重要（拡充）となる事業』

福祉懇談会

安心とゆとりのまち 住み続けたいまちづくり

湖北台地区社会福祉協議会 進捗評価表

地区理念 「 明るく健康的で 住み良い湖北台のまちづくり 」

基 本 目 標	A : 十分 できた	B : 概ね できた	C : あまりで きなかった	D : 取り組め なかった
目標1. 広げよう、つながりの輪	61%	17%	22%	0%
目標2. 学び、理解し、共にあゆむ	100%	0%	0%	0%
目標3. 支援が必要な人たちを支える	67%	33%	0%	0%
目標4. 一人ひとりが参加できる仕組みづくり	66%	17%	17%	0%
目標5. 安心と安全を守る取り組み	34%	33%	0%	33%
全 体	67%	19%	9%	5%

■■■今後、重要（拡充）となる事業■■■

見守りネットワーク推進事業…見守り活動の拡充、交流の場（高齢者サロン）の設立支援

見守りネットワーク推進事業…地域ささえあい活動

住民アンケートの実施し、生活課題の把握・取りまとめ、課題の周知や取組みの検討

目標1. 広げよう、つながりの輪

湖北台地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	湖北台地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 交流の場の提供や活動の支援をします	③湖北台・駅前「お休み処」運営事業	A	継続	○慢性的なスタッフ不足。現在は、土日祝をお休みとしている。 ○各種ミニイベントを開催し好評を得ている。
	④子育て支援事業	C	継続	○参加者が集まりににくい。 ○参加されたご家族は、喜ばれている。
	⑤児童福祉事業	A	継続	○西子バザール・西小つくって遊ぼう、東っ子まつりで「昔遊びコーナー」に参画した。
	⑪湖北台敬老お楽しみ会	A	継続	○例年100名以上の高齢者が参加。 ○小学生の参加もあり、児童とのふれあいも好評。 ○障がいをお持ちの方のお手伝いもあり、交流につながった。
	⑬湖北台健康まつり	A	継続	○一般参加者が80名前後、生徒が80~90名。世代間交流にもなったが、一般の参加者が少ない。
活動方針2 福祉ネットワークを推進します	①見守りネットワーク推進事業	B	継続	○湖北台11見守り組織を資金面、活動面共に支援した。 ○交流懇談会では、見守り活動の研修会を複数回実施した。
	⑤児童福祉事業	A	継続	○西小・東小の学校行事へ参加。また、参加を呼び掛けた。定期的に校長が定例会に参加、交流が図れている。
	⑨障がい児者支援事業	B	継続	○地域の障害者福祉施設が委員に参画し、活動をしている。 ○新しくできた障害者福祉施設との関わりが築けない。
	⑪湖北台福祉バザー	A	継続	○自治会、見守り組織、まち協、障がい者福祉施設など多様な連携・協力をいただいた。 ○収益金を学校へ寄付・寄贈したこともあり、小中学校と密接に関わりを持っている。
	⑫湖北台敬老お楽しみ会	A	継続	○自治会、見守り組織、シニアクラブ（全4団体）等の協力。 ○高齢者福祉施設（利用者）からも参加いただいた。
	⑬湖北台健康まつり	B	継続	○中学校、自治会、福祉施設、行政や病院等の協力。
	⑭鯉のぼりまつり	A	継続	○4団体（自治会連合会、まちづくり協議会、防犯連絡協議会、地区社協）の共同の事業として、協力・連携できた。
活動方針3 サロン活動の推進をします	⑯新年の集い	A	継続	○委員・代議員・関連機関など相互の親睦が図れた。
	①見守りネットワーク推進事業	C	拡充	○新しいサロンを増やすことができなかったが、サロンの推進は重要な活動であり、より積極的に取り組む必要がある。
	③湖北台・駅前「お休み処」運営事業	A	継続	○集える場所として、高齢者なんでも相談室による健康講座の開催やちょっとした打合せなどに利用いただいた。
活動方針4 福祉に関する情報提供をします	④子育て支援事業	C	継続	○他のサロンも多く、子育て家族が集まりににくい。
	⑨障がい児者支援事業	C	継続	○障がいに関する啓発がありできなかった。
	⑪こほく台地区社協だより	A	継続	○平成30年度よりフルカラー化。 ○行事の告知・報告など、よりタイムリーな紙面にしていく。

進捗評価 A:十分できた	11事業
B:概ねできた	3事業 小計 14事業
C:あまりできなかった	4事業
D:取り組めなかった	事業 全体 18事業

《今後、重要（拡充）となる事業》

①見守りネットワーク推進事業

目標2. 学び、理解し、共にあゆむ

湖北台地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	湖北台地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 学習会の場を提供します。	⑥介護予防教室	A	継続	○「転ばない為の体操教室」毎年40人前後の参加がある。 ○住民の交流の場でもあり、喜ばれている。
	⑦認知症サポーター養成講座	A	継続	○住民の交流、理解、親睦を深める場でもある。 ○リピーターの為の講座を企画していきたい。
	【H29新規事業】⑩災害対策事業	A	継続	○「減災講座」毎年1回を開催している。
	⑪委員研修会	A	継続	○福祉機器展視察、委員バス研修を実施した。
活動方針2 福祉教育を推進します	⑧認知症サポーター養成講座(中学生向け)	A	継続	○湖北台中学校で毎年実施、内容も良く、効果が高い。
	【H30新規事業】 認知症サポーター養成講座(小学生向け)	A	継続	○平成30年度から、西小・東小でも養成講座を実施。 ○児童のご家族にも関心を持ってもらえるよう取り組みたい。

進捗評価 A:十分できた	6事業
B:概ねできた	事業 小計 6事業
C:あまりできなかった	事業
D:取り組めなかった	事業 全体 6事業

《今後、重要（拡充）となる事業》

目標3. 支援が必要な人たちを支える

湖北台地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	湖北台地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 見守り活動を推進します	①見守りネットワーク推進事業	A	拡充	○湖北台11見守り組織による見守り活動を支援。 ○西小・東小児童との「子どもパトロール」は、湖北台7丁目全域を終えた。 ○「高齢者ささえあい活動」として、来年度に住民アンケートを実施、それに基づいて、見守り活動を推進していく。
	②電話訪問サービス事業	A	継続	○喜んでくださる利用者がいる。継続して活動したい。
活動方針2 市社協と協力し、生活支援に取り組みます	⑤児童福祉事業	B	継続	○こぼく子ども食堂へ食材を寄付した。
	⑪湖北台福祉バザー	A	継続	○生活消耗品などは、市場より低価格で設定し、広く支援に取り組んだ。
活動方針3 福祉施設や福祉団体の支援をします	③湖北台・駅前「お休み処」運営事業	B	継続	○引き続きポーターサービスを実施。障がい者福祉施設の支援、障がい者の社会体験の場になっているが、利用が低迷している。
	⑨障がい児者支援事業	A	継続	○平成30年度に障がい者福祉委員会が休止となったが、引き続き行事や事業などで支援できた。
	⑪湖北台福祉バザー	A	継続	○障害者福祉施設の販売の場を提供し支援している。
	⑫湖北台敬老お楽しみ会	A	継続	○障害者福祉施設の製作品を参加者の記念品として、まとめて購入している。
	⑬湖北台健康まつり	B	継続	○障害者福祉施設の販売の場を提供し支援している。

進捗評価 A:十分できた	6事業
B:概ねできた	3事業 小計 9事業
C:あまりできなかった	事業
D:取り組めなかった	事業 全体 9事業

《今後、重要（拡充）となる事業》

①見守りネットワーク推進事業

目標4. 一人ひとりが参加できる仕組みづくり

湖北台地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	湖北台地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 ボランティア・市民活動ができる場を提供します	②電話訪問サービス事業	A	継続	○電話訪問ボランティアスタッフが喜んで活動している。
	③湖北台・駅前「お休み処」運営事業	B	継続	○多くの方々がボランティアスタッフとして活動いただいた。 ○学生ボランティア体験を受け入れた。
	④子育て支援事業	C	継続	○学生ボランティア体験を受け入れた。
	⑪湖北台福祉バザー	A	継続	○ボランティアの高齢化もあり、募集するも少ない。 ○若い世代への呼び掛けが必要。
	⑫湖北台敬老お楽しみ会	A	継続	○「地域活動支援センターにじ」の方々に、ボランティアしていただいている。地域交流にもなっている。
	⑬湖北台健康まつり	A	継続	○中学生ボランティアが毎年40~50名参加。

進捗評価 A:十分できた	4事業
B:概ねできた	1事業
C:あまりできなかった	事業
D:取り組めなかった	1事業 全体 6事業

『今後、重要（拡充）となる事業』

目標5. 安心と安全を守る取り組み

湖北台地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	湖北台地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 あんしんカードの普及	〔追加〕①見守りネットワーク推進事業	B	継続	○年3回の交流懇談会で、使い方や事例報告など紹介し、正しいあんしんカードの使い方など周知できた。
	※4 団体合同会議での提案	D	継続	まだ、提案していない。
活動方針2 災害に備える取り組みを支援します	⑩災害対策事業	A	継続	○防災100円グッズを健康まつりで紹介。 ○「防災チラシ」全世帯配布など、広く啓発することができた。 OH29年度から「減災講座」毎年1回を開催している。

進捗評価 A:十分できた	1事業
B:概ねできた	1事業 小計 2事業
C:あまりできなかった	事業
D:取り組めなかった	1事業 全体 3事業

『今後、重要（拡充）となる事業』

安心とゆとりのまち 住み続けたいまちづくり

布佐地区社会福祉協議会 進捗評価表

地区理念 「 助け合い、支えあう地域のわ（和・輪）～安心して暮らすために～ 」

基 基本 目 標	A : 十分 できた	B : 概ね できた	C : あまりで きなかった	D : 取り組め なかつた
目標1. 広げよう、つながりの輪	44%	44%	12%	0%
目標2. 学び、理解し、共にあゆむ	20%	60%	20%	0%
目標3. 支援が必要な人たちを支える	100%	0%	0%	0%
目標4. 一人ひとりが参加できる仕組みづくり	50%	25%	0%	25%
目標5. 安心と安全を守る取り組み	0%	0%	100%	0%
全 体	40%	40%	15%	5%

■■■今後、重要（拡充）となる事業■■■

- 高齢者サロン「さつきの会」への支援
- 高齢者サロン「シニアサロンかえで」への支援
- 高校生の子育てサロン

目標1. 広げよう、つながりの輪

布佐地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 交流の場に関する情報提供、仲介、支援をします	布佐地区社協まつり	A	継続	地域のイベントとして地域住民に親しまれている。毎年多くの参加者が集まり、布佐地区社協の最大の宣伝イベントである。
	脳トレ・認知症予防	C	縮小	参加者が減少傾向にあり、令和元年度は中止。認知症予防については必要な事業ではあるが、実施内容については検討が必要。市内で行われているRUN伴あびこに参加。
	新縁まつり	B	継続	商興会と連携し、布佐地区的町おこしのために参加。バザー及び物品販売を行っている。地域住民に地区社協の存在のアピールにもなっている。商興会との関係づくりにもなっている。
	もみじ祭り	A	縮小(廃止)	商興会と連携し、布佐地区的町おこしのために参加。バザーおよび物品販売をおこなっていたが、もみじ祭り自体が令和元年度より廃止となる。
	歩紀行	A	継続	我孫子の街を中心計画をしており、参加者は毎年多くいる。今後も地域住民の健康のためにも年1回の開催を継続していく。
活動方針2 福祉ネットワークを支援します	高校生の子育てサロン	A	拡充	東高校と共に開催している事業であり、今後東高校に福祉科ができることから今後も発展していく事業。東高校とも連携を深めさらなるサロンの充実を図る。
	子育てサロン「すくすくほっとひろば」	A	継続	参加者減少が一時期見られたが、対象を子供から親へ変え、母親のリフレッシュ目的としたものに転換したところ、参加者増加。今後も母親を対象とした子育てサロンとして展開していく。
	高齢者サロン「さつきの会」への支援	B	拡充	さつきの会への支援をしており、今後は見守り活動のツールとして発展させていきたい。
	高齢者サロン「シニアサロンかえで」への支援	B	拡充	シニアサロンかえでへの支援をしており、今後は見守り活動のツールとして発展させていきたい。
活動方針3 様々なサロン活動の支援をします	広報紙発行・研修企画	B	継続	地域住民の情報源の一つとなるよう、記事の内容は市内の施設やサービスを多く掲載。年に3回発行し、今後も地域の役立つ情報として継続していきたい。
活動方針4 福祉に関する調査・情報提供をします				

進捗評価 A:十分できた	4事業
B:概ねできた	4事業 小計 8事業
C:あまりできなかった	1事業
D:取り組めなかった	事業 全体 9事業

《今後、重要（拡充）となる事業》
高齢者サロン「さつきの会」への支援
高齢者サロン「シニアサロンかえで」への支援
高校生の子育てサロン

目標2. 学び、理解し、共にあゆむ

布佐 地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 学習会などに関する情報提供や支援をします。	健康マージャン教室	B	縮小	麻雀を通して住民同士の繋がりを作るきっかけとなっている。社協の麻雀教室を受講した人たちが麻雀サークルを立ち上げ、独自に活動を展開しており住民同士の繋がりの役割も担っている。
	脳トレ・認知症予防	C	縮小	参加者が減少傾向にあり、令和元年度は中止した。地域の認知症予防には必要な事業のため、実施内容には工夫が必要である。市内で行われているRUN伴あびこに参加。
	ロコモ予防・健康体操教室	B	継続	継続者も多く、新規参加者も微増ながら増えている。今後は男性の参加者の増加を目指していきたい。
	委員研修	B	継続	委員の親睦および組織力の強化を目的に実施している。障害施設の見学など、知識向上も含め様々な場所を選定し継続したい。
活動方針2 福祉教育を推進します	高校生の子育てサロン	A	拡充	高校生の自主的な動きがみられ、年々充実した内容となってきている。親子の参加者も多くなってきており、母親からの子育ての実体験と子供とのふれあいが高校生の生きた学習となっている。

進捗評価 A:十分できた	1事業
B:概ねできた	3事業 小計 4事業
C:あまりできなかった	1事業
D:取り組めなかった	事業 全体 5事業

《今後、重要（拡充）となる事業》
高校生の子育てサロン

目標3. 支援が必要な人たちを支える

布佐 地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 見守り活動を支援します				
活動方針2 寄付・募金運動を普及していきます	歩紀行	A	継続	布佐地区社協設立当初から続いている事業であり、地域住民も楽しみにしている声がある。我孫子の街を中心に行路を計画し、参加者は毎年多くいる。今後も地域住民の健康のためにも年1回の開催を継続していきたい。
活動方針3 住民による生活支援を推進します				
活動方針4 福祉施設や福祉団体に関する情報提供や仲介、支援を行います				

進捗評価 A:十分できた	1事業
B:概ねできた	事業 小計 1事業
C:あまりできなかった	事業
D:取り組めなかった	事業 全体 事業

《今後、重要（拡充）となる事業》
歩紀行

目標4. 一人ひとりが参加できる仕組みづくり

布佐 地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 ボランティア・市民活動団体の支援をします	施設見学会	D	縮小	毎年開催予定であったが、今後は委員の改選期に合わせて市内施設の見学を検討したい。
	星空ウォッキング	B	継続	小学生を対象とした事業で開催をしていたが、夜間であることから参加者が減少傾向にあった。地域住民の参加希望があったことから、対象を地域住民に展開。天候に左右されることもあり、学校施設を使用することから日程が限られ、開催が難しい状況ではあるが今後検討課題としたい。
活動方針2 担い手づくり、ボランティア活動に参加する機会を支援します	手作りピザ教室	A	拡充	市外からの参加者もあり、増加傾向にある。知的障害者の自立の一つとしても重要な事業であり、継続していきたい。参加者との関わりを通して委員の障害者理解の機会にもなっている。参加者が多いことから調理室の手狭が問題となっていることが今後の検討課題である。
	手作りうどん教室	A	拡充	市外からの参加者もあり、増加傾向にある。知的障害者の自立の一つとしても重要な事業であり、継続していきたい。参加者との関わりを通して委員の障害者理解の機会にもなっている。参加者が多いことから調理室の手狭が問題となっていることが今後の検討課題である。

進捗評価 A:十分できた	2事業
B:概ねできた	1事業 小計 3事業
C:あまりできなかった	事業
D:取り組めなかった	1事業 全体 4事業

《今後、重要（拡充）となる事業》
手作りピザ教室
手作りうどん教室

目標5. 安心と安全を守る取り組み

布佐 地区社協 第5次我孫子市地域福祉活動計画進捗評価表

活動方針	地区社協の事業	進捗評価	今後の取組み	地域への影響 (成果、課題や今後の取組み)
活動方針1 あんしんカードの普及				
活動方針2 災害に備える取り組みを支援します	AED講習	C	縮小	地域住民を対象とした講習を目的としていたが、委員対象の開講のみとなつたため、令和元年度は未実施。委員の改選期に合わせて実施する等開催については検討が必要な事業。

進捗評価 A:十分できた	事業
B:概ねできた	事業 小計 事業
C:あまりできなかった	1事業
D:取り組めなかった	事業 全体 1事業

《今後、重要（拡充）となる事業》